

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

## 個人情報保護

### 議案第2号 加西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について 総務

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）の一部が改正されたことに伴い、引用する条文の条ずれを改正するもの。

**問** 自治体間で情報連携を行うことの利便性や安全性について。

**答** 例えば県営住宅の申し込みがあった場合に、県から市へ所得証明や住民票の情報を直接照会することで、自治体側は手続きが簡素化され、申込者側は添付書類が省略できるなど、双方にメリットがあります。また、マイナンバーを利用できる事務範囲の制限に加えて、システム面では情報の分散管理や暗号化など、重ねての安全対策を行っています。

**討論【反対】** 情報の安全性は担保されているという説明だが、完璧な情報保護は難しいという観点で制度導入時に反対した経緯があり、今回の改正についても反対である。



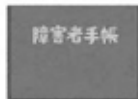
## 福祉医療・福祉年金

### 議案第5号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について 建設

老人医療費助成事業の廃止に伴い高齢期移行助成事業を適用するもの及び精神障害者保健福祉手帳2級を所持する者にも医療費助成を拡大するもの。

**問** 助成の対象を精神障害者手帳2級所持者までとしたことについて。

**答** 精神障害者手帳2級の方は、一般就労が難しい状況にあり、福祉就労的な形で十分な収入が得られないといった生活状況にありますが、精神障害者手帳3級の方は、一般就労も可能な状況であることから、2級の方の生活実態などを鑑みて生活支援ということも含めて、対象に追加しました。



**問** 国や市の施策が、福祉的就労や事業所への就労という支援になっていることとの兼ね合いについて。

**答** 福祉就労が必要な方や福祉就労から一般就労へ移行できそうな方に対して、準備も期間も含めて支援していく体制を構築する努力もしていますが、議会での請願の採択ということも真摯に受け止め、優先度や効果等も総合的に検討した結果です。

**討論【反対】** 財政的なことも考え、完全無料化ということには賛同しかねる。また、施設から地域社会への移行を目指す施策に対する支援の仕組みが適切であると考ええる。

### 議案第9号 加西市障害者福祉年金条例の制定について 建設

加西市心身障害者養護年金を廃止し、新たに障がいの程度が重度及び中度の障がい者で、かつ市民税世帯非課税者を対象とした年金を支給するもの。

障害の種類・程度	支給額（年額）
身体障害者1・2級、知的障害者A、精神障害者1級	25,000円
身体障害者3級、知的障害者B1、精神障害者2級	18,000円

**問** 条例を制定するにあたって実施した障がい者団体と意見交換の内容について。

**答** 現金給付から現物給付ということで、例えば福祉タクシー券利用制度の拡充や障がい者団体の活性化支援強化などのサービスの充実を図りたいということや、福祉年金は低所得者の方への生活支援ということで行うが現状維持以上で考えていることなどを提示して議論しました。

**討論【反対】** 日常生活に必要なサービスの提供や社会参加ということに重点を置き、地域社会への移行を目指しているのであれば、そこに費用を投じるべきであり、新たに福祉年金を創設して支援するという仕組みには同調できない。

## 産業振興

### 議案第11号 加西市産業の振興に関する条例の制定について 建設

産業振興に関する基本方針や市の責務、事業者、経済関係団体、市民の役割等を定め、将来にわたって地域経済の持続可能性を高めることにより、活力ある地域社会の実現と市民生活の向上を図ろうとするもの。

**問** 条例の実効性について。